

令和8年
2026年

3月4日
水曜日

第11902号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料 (前納)
年間 82,080円
(税込み)
6か月 42,120円
(税込み)

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



復興から発展・挑戦へ、3社がコラボし「築地100年バーガー」誕生……P3

- ▶ 厚労省食品衛生監視部会で全肉連がHACCPスマート化の取組説明……P2
- ▶ 特定技能制度、育成就労制度における産業分野の追加などパブコメ実施—農水省……P2
- ▶ 東日本大震災から15年、復興から発展・挑戦へ、3社がコラボし「築地100年バーガー」誕生……P3
- ▶ [鶏肉調製品輸入1月]計4万1709tで8.0%増……P4
- ▶ [POSランク1月その他加工肉製品]「ほくしサラダチキン」が首位……P4
- ▶ [POSランク1月冷凍畜産素材]「北海道ジンギスカンR 冷凍」が首位……P4
- ▶ [人事異動]スターゼン(4月1日付)……P4
- ▶ [ソーセージ輸入1月]計2022tで1.6%増……P5
- ▶ 3月の飲食料品値上げは合計684品目—TDB「食品主要195社」価格改定動向調査……P5
- ▶ 中国、26年の中央一号文件を公表……P6
- ▶ 日本食肉格付協会、4月1日付人事異動を内示……P7
- ▶ 近江ちゃんぽん亭「ゴロ肉フェア」開催……P7
- ▶ ピザーラ「春のプレミアムクォーター」登場……P7
- ▶ その他加工肉製品1月 POS売れ筋品目 ベストランキング月次……P8
- ▶ 冷凍畜産素材1月POS売れ筋品目 ベストランキング月次……P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]3日……P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]3日……P11

注目のヘッドライン

厚労省食品衛生監視部会で全肉連がHACCPスマート化の取組説明

厚労省はこのほど、平成30年食品衛生法改正の施行状況などを踏まえた課題を審議する「第7回厚生科学審議会食品衛生監視部会」を開催した。

…詳細はP2

特定技能制度、育成就労制度における産業分野の追加などパブコメ実施—農水省

…詳細はP2

食の感動体験を創造することで
世界中の人々と食をつなぎ続ける



<https://www.starzen.co.jp/>



<https://www.sfoods.co.jp/>

厚労省食品衛生監視部会で全肉連が HACCP スマート化の取組説明

厚労省はこのほど、平成30年食品衛生法改正の施行状況などを踏まえた課題を審議する「第7回厚生科学審議会食品衛生監視部会」を開催した。同課題については、昨年10月下旬から審議を続けており、今回が4回目となる。

同部会では、施行状況を踏まえた検討課題として、HACCPによる衛生管理の徹底を中心に議論を進めている。今回は小売関係団体が対象で、全国食肉事業協同組合連合会、公益(社)日本食品衛生協会、一般(社)日本フランチャイズチェーン協会、一般(社)全国スーパーマーケット協会、全国水産物商業協同組合連合会から、これまでの具体的な取り組みについてヒアリングが行われた。

実態把握事業のアンケート調査の結果では、飲食店、製造・加工業、販売業での「HACCPに沿った衛生管理を実施または一部実施」という施設は、令和3～4年度調査では約7～8割であり、7年度調査では8～9割であった。なお、「導入に向けて準備中」と回答した施設は1～2割となった。一方で、従業員数が少ない施設では導入率が低い傾向があった。また、導入準備中の事業者においては、導入に当たっての課題として、社内に導入を指揮できる人材がないことなどを挙げている。

部会では、全肉連の木村元治専務理事から食肉小売店・専門店の施行状況ならびに取り組みが報告された。全肉連では平成29年度にHACCPに関す

る事業を始め、食肉販売業向け(2019年6月)・小規模な食肉処理業向け(同)・大規模な食肉処理業向け(2021年8月)の手引書「HACCPの考え方を取り入れた衛生管理のための手引書」を作成した。また、「HACCPってなあに?」の作成では、HACCPへのコンセプトを詳細に説明し、一般衛生管理が基本で記載が重要であることを周知した。また、見える化のためのヒント、各種啓発資料(チェックボード・ポスター類)では、食肉販売HACCP憲章9カ条の徹底により、安全・安心な食肉を提供するための衛生管理・情報提供を啓発した。

さらにスマートHACCP推進への取り組みとして、デジタルツールを開発している。現場では記録業務が負担になっており、紙での管理は振り返りが難しいという声がある一方で、市販のHACCPソフトは高機能すぎて使いづらく、費用がかかるといった意見を踏まえ、スマートHACCP開発に着手。現場で簡単入力・保存ができ、コスト面での負担を軽減することで導入が容易になる。スマートフォン・タブレット・PCで簡単入力でき、デフォルトは極力シンプルな項目で用途に応じてカスタマイズが可能で、開発コストを下げ無料化した。ユーザー登録などは不要にすることをコンセプトに開発。今後は普及のための説明会を開くなど、運用開始に向けた本格的な準備を進めていくと説明した。

特定技能制度、育成就労制度における産業分野の追加などパブコメ実施 —農水省

農水省はこのほど、食肉小売業の特定技能制度および育成就労制度追加に関する案を公表し、パブリックコメントを実施している。

食肉小売業においては令和6年8月、技能実習制度における移行対象職種・作業に「牛豚精肉商品製造作業」が追加され、精肉加工へ従事する技能実習生の受け入れが認められた。しかし、特定技能制度では、産業分類上の小売業に該当することから、食肉

小売業は対象事業所となっていない。また、育成就労制度は特定産業分野と原則一致させることになるため、技能実習生が廃止されると、食肉小売業で外国人材を受け入れることが難しくなることから、全国食肉事業協同組合連合会、日本食肉協会は令和7年、農水省畜産局長に対して、食肉小売業の追加を要望してきた。

東日本大震災から15年、復興から発展・挑戦へ 3社がコラボし「築地100年バーガー」誕生

宮城県の食品卸企業である(株)かね久(仙台市若林区、遠藤伸太郎社長=写真左)、創業100年の老舗精肉店(株)近江屋牛肉店(東京都中央区、寺出昌弘社長=同中央)、さらに宮城県の人気ハンバーガーショップ「ハリーズジャンクション」(松島町、佐藤賢将社長=同右)はこのほど、東日本大震災から15年、さらに近江屋牛肉店創業100年、そして100年先を目指す新たな挑戦として、3社によるコラボ商品「築地100年バーガー」を共同開発。2日に築地で発表会を開催した。

近江屋牛肉店をはじめとする築地場外市場では、2011年の東日本大震災直後から被災地での復興支援活動を実施。震災から一月足らずの4月10日には、まだライフラインが回復していない石巻市内での炊き出しを行った。その後も複数回にわたり炊き出しを行った他、築地において被災地支援、風評被害撲滅に向けたチャリティーイベントなども開催。震災から15年を迎え、被災地・宮城では「復興」から「発展・挑戦」のフェーズへと入っており、この絆を風化させることなく、持続可能な食文化を次世代へつなげていくために今回のコラボが実現した。

発表会でかね久の遠藤社長(一般社食のみやぎ応援団代表理事)は「震災から15年の節目に何かやろうと寺出社長と意見交換しながら今回の企画が始まった。地域連携“三方よし”のプロジェクトを進めることを決定し、その中で築地から地域ブランドを全国、また世界に発信したいという思いを込め、3社で使用食材の選定から商品開発、試作などを繰り返して、完成に至った。宮城県の仙台牛、日高見牛などを使用したハリーズのパーティに、近江屋牛肉店が取り扱う近江牛を乗せるというぜいたくなハンバーガーであり、ソースにも非常にこだわった。さらにレタスやトマトについてもなるべく仙台産を使うようにしている」とPRした。

また、近江屋牛肉店の寺出社長は「産地あつての築地であり、それをいろいろな形でつなげていくのがわれわれの商売。震災後初めての炊き出しを行った際には、高速道路はまだガタガタで、信号も全くついていないような状況下で卵焼きなどを焼いた。それか



らさまざまな形でご縁があり、人とのつながりを感じてきた。今年で震災から15年となり、風化させないために何か形にしようということで、当社の創業100年も踏まえて近江牛を加えたハンバーガーを開発。宮城と築地の架け橋として、しっかりと形にすることができた」と説明した。

さらにハリーズジャンクションの佐藤社長は「商品完成までにいろいろやりとりさせていただき、非常に良いものができたと感じている。今日築地を訪れてみて、インバウンドの方が非常に多く、そうした意味でもハンバーガーを築地から世界へ発信するにはとても良いタイミングだったのではないかと。地元の松島にも観光客は多いので、松島からも発信していきたい」と意欲をみせた。同店は松島で行列のできるハンバーガー店として有名であり、「JAPAN BURGER CHAMPIONSHIP 2024」で日本一に輝き、世界大会へ出場した実績を持つ。地域食材の魅力を最大限に引き出し、「仙台牛」と「日高見牛」をブレンドしたビーフ100%のパーティは、まるでステーキのような肉々しい食感が特長だ。

なお、今回の「築地100年バーガー」は、ハリーズジャンクションでは7日から数量限定の定番商品として、近江屋牛肉店では震災から15年となる11日から限定50食を土日祝日中心に販売する。価格は2300円。



【鶏肉調製品輸入 1月】計4万1709 tで8・0%増

1月の鶏肉調製品の輸入通関実績は、計4万1709 t (前年同月比8・0%増)と前年を上回った。前月からは8797 t減少した。国別ではタイが2万5588t

(7・6%増)と増加。中国も1万51573t (8・4%増)と増加した。そのほか韓国が49t (76・7%減)などとなった。

鶏肉調製品輸入の推移

	単位：トン、()内は前年比%						
	中国	タイ	ブラジル	韓国	米国	フィリピン	合計
2022年計	192,373 (109.3)	326,751 (109.3)	1,925 (110.6)	1,028 (93.3)	117 (55.8)	33 (71.4)	525,762 (109.4)
2023年計	173,673 (90.3)	297,810 (91.1)	558 (29.0)	1,201 (116.8)	100 (85.5)	0 (-)	477,983 (90.9)
2024年計	187,156 (107.8)	307,850 (103.4)	490 (87.8)	1,081 (90.0)	57 (57.2)	- (-)	503,188 (105.3)
2025年計	202,206 (108.0)	316,227 (102.7)	333 (68.1)	728 (67.4)	70 (121.8)	- (-)	529,801 (105.3)
2025年1月	13,978 (84.6)	23,775 (88.2)	38 (27.3)	109 (107.2)	- (-)	- (-)	38,628 (87.2)
2月	10,522 (79.5)	22,713 (104.6)	19 (24.7)	27 (29.1)	- (-)	- (-)	33,788 (94.7)
3月	16,674 (126.1)	25,989 (106.2)	99 (521.2)	32 (56.4)	14 (100.0)	- (-)	43,537 (113.6)
4月	16,940 (100.9)	25,048 (92.5)	19 (51.2)	38 (25.1)	- (-)	- (-)	43,306 (97.0)
5月	15,343 (109.3)	26,836 (102.8)	23 (59.8)	43 (65.9)	- (-)	- (-)	43,252 (106.1)
6月	16,990 (109.3)	26,095 (98.6)	18 (96.3)	27 (118.1)	13 (90.0)	- (-)	44,048 (103.4)
7月	20,587 (108.2)	28,425 (102.2)	16 (17.0)	45 (135.6)	14 (-)	- (-)	50,027 (105.4)
8月	15,023 (103.9)	25,506 (103.5)	19 (50.0)	47 (78.5)	- (-)	- (-)	41,460 (104.2)
9月	17,293 (103.0)	26,765 (118.9)	3 (5.4)	81 (124.5)	14 (100.0)	- (-)	44,986 (112.8)
10月	18,291 (107.1)	29,849 (99.7)	21 (27.5)	60 (44.3)	- (-)	- (-)	48,964 (102.2)
11月	19,749 (107.0)	26,398 (97.8)	60 (-)	132 (111.4)	14 (-)	- (-)	47,298 (102.4)
12月	20,817 (119.4)	28,827 (105.7)	- (-)	88 (42.1)	- (-)	- (-)	50,506 (110.8)
2026年1月	15,157 (108.4)	25,588 (107.6)	31 (164.8)	49 (23.3)	- (-)	- (-)	41,709 (108.0)

【POSランク1月その他加工肉製品】「ほぐしサラダチキン」が首位

㈱KSP-SPが全国食品スーパーマーケットから独自に収集した1月POS/その他加工肉製品売れ筋ランキングによると、シジシージャパン「ほぐしサラダチキン」(100g)が首位だった。

2位は日本ハム「ローストサラダチキン プレーン

糖質ゼロ」(52g×3)、3位はシジシージャパン「サラダチキンプレーン」(125g)、4位は伊藤ハム「ソラチのタレ使用ジンギスカン」(180g×3)、5位はプリマハム「サラダチキン3連プレーン」(180g)だった。対象店舗1068店舗の総販売金額は3億1460万1325円。

【POSランク1月冷凍畜産素材】「北海道ジンギスカンR 冷凍」が首位

㈱KSP-SPが全国食品スーパーマーケットから独自に収集した1月POS/冷凍畜産素材売れ筋ランキングによると、伊藤ハム「北海道ジンギスカンR 冷凍」(200g×3)が首位だった。

2位はマツオ「味付特上ラム」(400g)、3位は幸栄

物産「国産豚肉小間切れ 冷凍」(750g)、4位はブラジル産「骨なしチキン 冷凍」(2kg)、5位は坂口精肉店「味覚園 豚ジンギスカン」(400g)だった。対象店舗1068店舗の総販売金額は2881万3160円。

【人事異動】スターゼン(4月1日付)

三井物産㈱帰任(執行役員海外本部長付特命担当部長兼管理部長)北本晶英▷執行役員経営本部

副本部長(三井物産㈱食料本部畜産事業部部長補佐)中野剛

[ソーセージ輸入 1月] 計 2022 t で 1・6%増

1月のソーセージ輸入通関実績は計2022t(前年同月比1・6%増)で増加となり、前月比では242t減となった。国別では中国が549t(4・7%減)、タイが

375t(5・0%増)、米国が387t(76・3%増) ブラジルが470t(11・4%増)と前年を上回ったが、デンマークは80t(28・6%減)と減少した。

ソーセージ輸入量の推移

単位：トン、カッコ内前年比%

	中国	タイ	米国	ブラジル	デンマーク	合計
2022年計	5,610(91.7)	7,066(106.9)	6,321(88.3)	6,422(174.6)	1,347(114.3)	28,444(106.2)
2023年計	5,104(91.0)	6,721(95.1)	6,470(102.4)	4,544(70.8)	1,230(91.3)	25,580(89.9)
2024年計	5,162(101.1)	5,975(88.9)	6,637(102.6)	5,730(126.1)	1,197(97.3)	26,196(102.4)
2025年計	6091(118.0)	5898(98.7)	6590(99.3)	5953(103.9)	624(52.1)	26727(102.0)
2025年1月	576(169.9)	357(79.7)	389(113.7)	422(140.2)	112(533.3)	1,990(128.3)
2月	296(83.2)	488(87.9)	381(90.0)	643(197.7)	126(212.5)	2,036(114.0)
3月	516(147.6)	570(112.5)	647(125.0)	842(206.9)	54(70.4)	2,772(139.6)
4月	557(134.7)	514(99.6)	644(83.1)	776(150.1)	65(41.7)	2,726(107.4)
5月	528(113.8)	366(72.9)	521(80.5)	685(196.3)	14(10.8)	2,260(103.1)
6月	477(119.0)	452(92.2)	482(76.3)	713(138.2)	63(87.5)	2,307(103.4)
7月	547(124.6)	526(91.2)	561(90.6)	248(57.4)	36(22.5)	2,001(83.2)
8月	470(99.2)	468(103.8)	594(120.5)	228(36.2)	39(29.3)	1,973(83.9)
9月	405(86.5)	463(92.8)	530(117.8)	410(79.5)	33(39.8)	1,966(93.4)
10月	544(136.0)	657(103.6)	669(136.5)	468(67.6)	21(56.8)	2,528(106.0)
11月	501(102.0)	500(125.0)	486(85.3)	281(42.4)	17(16.8)	1,906(82.0)
12月	674(118.9)	536(135.4)	686(101.3)	236(61.6)	44(26.5)	2,264(96.6)
2026年1月	549(95.3)	375(105.0)	387(176.3)	470(111.4)	80(71.4)	2,022(101.6)

3月の飲食料品値上げは合計 684 品目 —TDB「食品主要 195 社」価格改定動向調査

帝国データバンク(TDB)は、3月以降における食品の値上げ動向と展望・見通しについて分析を行った。それによると、主要な食品メーカー195社における3月の飲食料品値上げは、合計684品目、食品分野別では、切り餅や米飯系冷凍食品など「加工食品」(304品目)が最も多かった。値上げ1回当たりの平均値上げ率は月平均14%となった。単月の値上げ品目数が1千品目を下回るのは5カ月連続。飲食料品における値上げの勢いは、前年に比べて小康状態で推移した。

3月の値上げを食品分野別に集計すると、切り餅や米飯系冷凍食品、パスタ調理品などを中心とした「加工食品」(304品目)が最も多かった。「酒類・飲料」(224品目)は、果汁飲料や緑茶PET飲料などが対象となった。「調味料」(72品目)は、ドレッシング類が中心だった。

2026年の値上げは、1～6月で累計4493品目、年間の平均値上げ率は15%。米の価格高騰を中心に、米菓など米を原料とする飲食料品では値上げ圧力が根強い。また、すり身、アフリカ豚熱の影響を受けた豚肉類など、関連する食料品で「原材料高」による影響を受けた値上げが一部でみられた。ただ、全体では総じて値上げの動きが鈍化傾向にある。

値上げ要因では、「原材料高」が99・2%となり、集計を開始した23年以降で最多だった。国内だけでなく、海外の市況高騰を受け、値上げに踏み切った商品が前年に比べて目立った。「包装・資材」(69・8%)は7割前後まで上昇し、23年以降で最高だった他、「人件費」由来の値上げも60・7%と6割を超え、過去4年で最高水準となった。

中国、26年の中央一号文件を公表

中国政府はこのほど、中国共産党中央委員会と国務院の連名で「農業農村の現代化に目標を定め、農村の全面的な振興を着実に推進することに関する意見」と題する今年の中一文件を公表した。2月6日には中国農業農村部が一号文件の重点事項を着実に実施するとして「農村改革をさらに一歩深化させ、農村の全面的な振興を着実に推進することに関する意見の実施意見」(以下「実施意見」という)を公表した。以下に、2026年中一文件と実施意見の主な内容を紹介する。

表題の「目標を定め」は従来、農業関係政府文書で用いられることが少なく、着実に成果を出すとの意思が感じられる。26年は第15次5カ年計画の初年度であり、一号文件は「これからの5カ年は全面的に発展するための鍵となる時期であり、農業農村領域で突出している弱点の補完を加速し、農業強国の建設を加速する」必要があるとした。その上で、今後の取組方針として、①農業の総合的な生産能力、品質および効率性の向上②農村生活支援の常態化③農民の収入向上の積極的な促進④その土地に合った国土の利用と美しい農村の建設⑤農地利用などの制度・枠組みの刷新⑥中国共産党による農村振興のけん引一を掲げた。

これを受け、実施意見は、①重要農産物の安定供給②農村生活支援の常態化と脱貧困の状態の堅持③技術を基盤とした農業生産力の刷新④インフラ整備による美しい村の建設⑤農地請負制、集団経済などの一層の改革一を推進するとした。

26年中一文件と実施意見のうち農作物の種類ごとの主な政策方向は以下の通り。

26年中一文件は食糧総生産量7億tを堅持するとし、そのために実施意見は「食糧、大豆を含む油糧作物」について、生産目標を各省ごとに定め、各省共産党員幹部の業績評価においても食糧安全の確保責任を強化するとした。また、単収向上プロジェクトについて、農業機械の一層の普及や技術の体系化など、「良い農地・良い品種・良い農業機械・良い栽培技術」をスローガンに従来から進めてきた取り組みに

ついて、プロジェクト実施地域の特性に応じた生産構造と産地配置を進めていくことで生産効率を一層高めるとした。

また、大豆は油糧原料として利用するため農作物の中でも輸入量が突出して多く、以前から特に国産大豆の生産量向上が目指されている。26年中一文件は「大豆の生産能力を強化・向上させ、生産と販売の連携を強化する」とし、初めて販売(消費)を見据えた生産について言及し、「大豆の油糧生産能力向上プロジェクトを深化させるとともに、あぶらな、落花生などの生産面積を拡大し、油糧の多元的な供給を進める」とした。実施意見は大豆について、生産者補助金制度の継続の他、生産コスト保険と収入保険の確実な実施を掲げた。

豚は、肉の生産量が家畜の中で最も多く、主要な食料を安価で安定的に供給するとの政府の基本方針に関わる食料である。それにもかかわらず、18年のアフリカ豚熱のまん延によって大きく飼育頭数が減少したことから、19年以降、毎年一号文件で取り上げられてきた。生産能力の急速な拡大に伴う豚肉価格の低下を受け、21年からは「豚生産能力管理調整方策」による生産能力の調整が始まり、25年の一号文件では「豚の生産能力の監視と調整を適切に行い、安定的な発展を促進する」とされた。26年中一文件はさらに「豚の生産能力の調整を強化する」とし、実施意見は、大手養豚企業に対して年間生産計画の作成義務を課すことなどを明確にした。

肉牛および乳牛について初めて特出ししたのは25年の一号文件で、「困難を緩和する政策を着実に実施し、生産能力の安定を図る」とされた。これは、豚肉同様、牛肉も生乳も価格低迷が顕著となり、飼養農家の生活が苦しくなったことを受けたものである。26年中一文件は、「困難からの回復の成果を確実にし、需給バランスと健全な発展を促進する」とした。実施意見は、優良な繁殖雌牛の増頭・能力の向上や、学生向け飲用乳の普及強化、乳製品の深度加工の促進、乳製品消費拡大の推進などの政策を推進することを明記した。(農畜産業振興機構)

日本食肉格付協会、4月1日付人事異動を内示

日本食肉格付協会は4月1日付の人事異動を次のとおり内示した。

南九州支所長(福岡事業所長) 勝目洋▷南九州支所技術指導職(南九州支所長) 八木光広▷都城事業所長(南九州支所技術指導職) 宝谷浩▷神奈川事業所長(東藻琴事業所長) 松本晴輝▷仙台事業所長(三沢事業所長) 小迫昭二▷宮城事業所長(仙台事業所次長) 志田健▷三沢事業所長(十和田事

業所) 上條最央▷東藻琴事業所長(旭事業所) 高橋智也▷小笠事業所長(豊橋事業所長) 福本陸也▷広島事業所長(徳島事業所長) 姫野晃一▷徳島事業所長(徳島事業所) 関宗治▷知覧事業所長(大洲事業所長) 吉田拓人▷串木野事業所長(都城事業所長) 松尾栄教▷名古屋事業所長(知覧事業所長) 前園幹郎▷大洲事業所長(串木野事業所長) 小林雄飛

近江ちゃんぽん亭「ゴロ肉フェア」開催

ドリームフーズ(株)(滋賀県彦根市、山本英柱社長)は、3日から、期間限定で「ゴロ肉フェア」を開始した。

これまで“おだしのちゃんぽん”として、黄金色のダシと野菜たっぷりの優しい味わいを大切にしてきた同店。同フェアでは、その黄金ダシに、ゴロツとぜいたくにぶつ切りした自家製チャーシューをどっさりと盛り込んだ。同店で、これほどまでに“ゴロゴロ”としたチャーシューを使用するのは初の試み。ダシと肉のうまみが重なり合う、新たな一杯となっている。フェア

概要は以下の通り。

フェア名=ゴロ肉フェア、開始日=3月3日、価格=ゴロ肉ちゃんぽん(税込み1100円)、ゴロ肉汁なしちゃんぽん(1100円)、ゴロ肉焼飯(900円)、実施店舗=近江ちゃんぽん亭各店(一部店舗では実施なし)



ピザーラ「春のプレミアムクォーター」登場

(株)フォーシーズ(東京都港区、浅野幸子社長)が展開する宅配ピザ「PIZZA-LA」は、今春の新作2商品を1枚で楽しめるぜいたくなクォーターピザ「春のプレミアムクォーター」を4日から、期間限定で発売する。

同商品は、今季の新品「大海老のシーフードタルタル」と「プライムガーリックビーフ」を主役に、「北海道産マスカルポーネ&熟成サラミ」「フレッシュトマト&バジル」を組み合わせた、華やかさと満足感を兼ね備えたクォーターピザ。香ばしいビーフの存在感、ぷりっと弾ける大えびのぜいたくさ。一切れごとに異なるおいしさが広がり、最後まで期待を裏切らない味わいを楽しめる。肉も、えびも、主役級の存在感。春だけの特別なおいしさを、凝縮した一枚と

なっている。

新商品の「プライムガーリックビーフ」は遠赤外線と直火でうまみを閉じ込めて焼き上げた牛肉に、ガーリックの香ばしさとうまみを重ねた特製しょうゆダレを合わせた。香ばしい香りに、1口ごとに広がる牛肉のうまみ。さらに、ガーリック香るブラウンマッシュルーム、甘みのあるダイスオニオン、彩り鮮やかな赤パプリカが重なり、うまみの層を丁寧に積み上げている。ビーフのうまみを最大限に引き出した、上質で奥行きのある味わいに仕上がっている。



その他加工肉製品1月 POS売れ筋品目 ベストランキング月次

出典:KSP-POS 地区:全国、業態:全国食品スーパーマーケット、期間:2026年1月 対象店舗数:1,068店舗 品目合計:3億1,460万1,325円

順位	メーカー名 / アイテム名	金額	数量	平均 価格	金額 シェア	数量 シェア	販売店率
1	シジシージャパン ほぐしサラダチキン 100g	5,851,019	27,602	212.0	1.9	3.0	26.1
2	日本ハム ローストサラダチキン プレーン 糖質ゼロ 52g×3	4,954,210	17,471	283.6	1.6	1.9	39.4
3	シジシージャパン サラダチキンプレーン 125g	4,824,148	23,508	205.2	1.5	2.6	26.3
4	伊藤ハム ソラチのたれ使用ジンジスカン 180g×3	4,600,587	5,427	847.7	1.5	0.6	5.4
5	プリマハム サラダチキン3連プレーン 180g	4,504,905	16,494	273.1	1.4	1.8	30.8
6	イオントップバリュ イオン旨みをとじ込める低温調理 手仕込みローストビーフ シルキーカット 110g	4,484,008	8,548	524.6	1.4	0.9	9.7
7	丸協食産 牛シロモツ 400g	4,088,898	5,569	734.2	1.3	0.6	11.8
8	丸大食品 サラダチキン切落し プレーン 100g	3,754,132	17,998	208.6	1.2	2.0	36.3
9	恵風 恵風 牛すじ串 4本	3,709,509	8,809	421.1	1.2	1.0	7.8
10	プリマハム サラダチキン3連ハーブ 180g	3,619,710	12,988	278.7	1.2	1.4	29.5
11	伊藤ハム チキンナゲット超大容量ジッパー 610g	3,479,404	5,747	605.4	1.1	0.6	14.6
12	紀文食品 牛すじ 3本 54g	3,327,039	8,443	394.1	1.1	0.9	6.4
13	日本ハム ローストサラダチキン ハーブ 糖質ゼロ 52g×3	3,316,172	11,853	279.8	1.1	1.3	36.6
14	伊藤ハム ソラチオリジナルのたれ使用 ロースジンジスカン 200g×3	3,178,238	3,041	1,045.1	1.0	0.3	6.7
15	米久 くらし 肉だんご 330g	3,130,973	11,455	273.3	1.0	1.3	5.8
16	丸大食品 サラダチキン切落し ハーブ 100g	2,968,599	14,317	207.4	0.9	1.6	36.3
17	プリマハム 香薫ミニステーキ 86g	2,890,859	13,366	216.3	0.9	1.5	42.0
18	イオントップバリュ イオン旨みをとじ込める低温調理 手仕込みローストビーフ シルキーカット 60	2,808,278	7,978	352.0	0.9	0.9	9.7
19	スターゼン ふんわりローストビーフ切り落し 90g	2,702,081	4,765	567.1	0.9	0.5	3.3
20	イオントップバリュ イオン旨みをとじ込める低温調理 手仕込みローストビーフ シルキーカット 187g	2,651,975	3,093	857.4	0.8	0.3	7.2
21	伊藤ハム こてっちゃん もつ鍋醤油味 480g	2,650,682	7,079	374.4	0.8	0.8	45.5
22	紀文食品 おでんや 味がしみ込だ牛すじ串3本 65g	2,487,839	5,241	474.7	0.8	0.6	21.2
23	西日本パッカー 西日本パッカー 牛すじ	2,282,676	3,089	739.0	0.7	0.3	2.2
24	シジシージャパン サラダチキンブラックペッパー 125g	2,272,299	11,276	201.5	0.7	1.2	24.5
25	カネテツテリカフーズ カネテツ 味付け牛すじ肉真空 3串	2,269,240	4,500	504.3	0.7	0.5	13.9
26	伊藤ハム こてっちゃん もつ鍋味噌味 480g	2,206,666	5,884	375.0	0.7	0.6	42.1
27	丸協食産 焼肉用牛ホルモン 180g	2,159,592	5,347	403.9	0.7	0.6	10.8
28	プリマハム 糖質ゼロ サラダチキン プレーン 100g	2,156,421	8,685	248.3	0.7	1.0	25.5
29	丸協食産 ローストビーフ和風仕立て 90g	2,127,806	5,183	410.5	0.7	0.6	6.5
30	シジシージャパン CgCサラダチキンハーブ 125g	2,105,072	10,576	199.0	0.7	1.2	25.3
31	奥野壽久商店 牛すじ 18g×4	2,092,846	4,880	428.9	0.7	0.5	4.2
32	丸大食品 サラダチキン切落しスモーク 100g	2,024,347	9,674	209.3	0.6	1.1	25.7
33	プリマハム 合鴨スモーク 170g	1,981,065	6,009	329.7	0.6	0.7	29.5
34	プリマハム ヘルシー 糖質ゼロ サラダチキン スモーク 100g?	1,929,203	7,893	244.4	0.6	0.9	24.2
35	プリマハム 炭火烧ローストビーフ 120g	1,800,398	2,442	737.3	0.6	0.3	12.1
36	日本ハム 蒲焼鶏スライス 103g	1,778,568	6,873	258.8	0.6	0.8	13.1
37	スターゼン ふんわりローストビーフ	1,754,523	3,052	574.9	0.6	0.3	3.3
38	星山商店 白ホルモン味付け 400g	1,702,606	1,757	969.0	0.5	0.2	1.8
39	伊藤ハム 糖質0 サラダチキン ハーブ 168g	1,675,348	5,765	290.6	0.5	0.6	11.2
40	フードリエ 紅茶鴨スモーク 160g	1,667,462	5,468	305.0	0.5	0.6	27.7
41	シジシージャパン サラダチキン スモーク 110g	1,644,647	8,192	200.8	0.5	0.9	19.9
42	西日本パッカー 国産牛すじ	1,551,199	2,857	543.0	0.5	0.3	2.5
43	イオントップバリュ イオン手仕込みローストビーフシルキーカット 増量 88g	1,525,739	3,061	498.4	0.5	0.3	9.6
44	アマタケ サラダチキン プレーン 100g	1,505,481	5,546	271.5	0.5	0.6	12.6
45	フィード・ワンフーズ やわらか仕上げ国産豚白もつ 800g	1,487,464	1,698	876.0	0.5	0.2	1.5
46	エム・ディー エム・ディー 国産牛ローストビーフスライス 70g	1,462,585	2,208	662.4	0.5	0.2	1.7
47	シジシージャパン サラダチキン チャーシュー 125g	1,449,893	7,355	197.1	0.5	0.8	19.1
48	プリマハム 合鴨バストラミ 170g	1,421,472	4,427	321.1	0.5	0.5	29.0
49	プリマハム サラダチキンハーブ 100g	1,389,742	5,719	243.0	0.4	0.6	22.9
50	伊藤食品 牛スジ 袋 8本	1,370,653	3,087	444.0	0.4	0.3	1.4

冷凍畜産素材1月POS売れ筋品目 ベストランキング月次

出典:KSP-POS 地区:全国、業態:全国食品スーパーマーケット、期間:2026年1月 対象店舗数:1,068店舗 品目合計:2,881万3,160円

順位	メーカー名 / アイテム名	金額	数量	平均価格	金額シェア	数量シェア	販売店率
1	伊藤ハム 北海道ジンギスカンR 冷凍 200g×3	2,582,491	2,386	1,082.4	9.0	5.4	3.0
2	マツオ 味付特上ラム 400g	1,745,632	1,131	1,543.4	6.1	2.6	5.4
3	幸栄物産 国産豚肉小間切れ 冷凍 750g	1,174,784	1,270	925.0	4.1	2.9	3.4
4	ブラジル 骨なしチキン 冷凍 2kg	909,016	659	1,379.4	3.2	1.5	0.9
5	坂口精肉店 豚ジンギスカン 400g	852,288	1,296	657.6	3.0	3.0	3.9
6	プリマハム ラムしゃぶ 250g	825,317	848	973.3	2.9	1.9	1.9
7	長沼成吉思汗 ロースジンギスカ 300g	766,846	884	867.5	2.7	2.0	1.3
8	ブラジル マテ茶鶏もも 2kg	751,131	574	1,308.6	2.6	1.3	1.0
9	ブラジル マテ茶 とりもも肉 BL55 2kg	725,351	542	1,338.3	2.5	1.2	1.4
10	エイメイフーズ 国産若鶏ささみ 凍結品	694,305	695	999.0	2.4	1.6	2.3
11	プリマハム ラムシュルダールNZ産 500g	621,757	318	1,955.2	2.2	0.7	1.8
12	東日本フード 醤油ジンギスカン 400g	510,545	548	931.7	1.8	1.3	4.8
13	幸栄物産 国産豚ミンチZ 冷凍 820g	497,883	516	964.9	1.7	1.2	1.4
14	ジャパンファーム 鹿児島県産若どりもも肉 1kg	375,519	313	1,199.7	1.3	0.7	0.3
15	NTCデリバ 冷凍馬肉ユッケ 50g	361,088	871	414.6	1.3	2.0	3.6
16	アンドウフーズ 国産牛小腸カット 冷凍 180g	359,578	624	576.3	1.3	1.4	0.5
17	プライフーズ 国産若鶏むね肉 冷凍 1kg	339,980	362	939.2	1.2	0.8	2.0
18	ジャパンファーム 鹿児島県産若どりむね肉 1kg	339,700	436	779.1	1.2	1.0	0.3
19	マルニ食品 ホルモン焼 160g	339,272	1,129	300.5	1.2	2.6	3.8
20	長沼成吉思汗 マトン味付け 300g	335,679	393	854.2	1.2	0.9	1.2
21	栗食 冷凍 国産豚ミンチ肉 400g	332,334	666	499.0	1.2	1.5	1.7
22	ニチレイフレッシュ 冷凍 国産 牛すじ 300g	315,259	473	666.5	1.1	1.1	1.4
23	ホクレン農業協同組合連合会 ホクレンの豚ジンギスカン特製しょうがタレ 800g	314,954	333	945.8	1.1	0.8	2.3
24	NTCデリバ スライス 馬刺し 冷凍 50g	304,380	494	616.2	1.1	1.1	6.3
25	潤屋 マトンロース 500g	301,448	198	1,522.5	1.1	0.5	2.0
26	千興ファーム 鮮馬刺しカナダ産赤身スライス 40g	284,229	381	746.0	1.0	0.9	5.7
27	JA全農ミートフーズ 国産豚ロース味噌漬 九州麦味噌使用 160g	281,790	782	360.4	1.0	1.8	2.4
28	坂口精肉店 塩ホルモン 200g	280,048	871	321.5	1.0	2.0	3.6
29	マツオ ジンギスカン 味付け特上ラム 冷凍 350g	275,756	202	1,365.1	1.0	0.5	3.2
30	コープデリフーズ (I) 牛スジ(冷凍)	272,499	687	396.7	1.0	1.6	2.0
31	JA全農ミートフーズ 国産豚ロース味噌漬 西京漬 170g	271,036	748	362.4	0.9	1.7	2.5
32	千興ファーム 鮮馬刺しユッケ 50g	266,227	390	682.6	0.9	0.9	5.3
33	昭和食品 国産もも串冷凍 10本	256,388	362	708.3	0.9	0.8	1.3
34	いわちく 国産豚味付け生ホルモンミックス 400g	254,872	492	518.0	0.9	1.1	2.3
35	プライフーズ 鶏ガラ 冷凍 175g	245,015	2,244	109.2	0.9	5.1	5.3
36	佐久精肉店 みしま味付ジンギスカン 600g	241,160	212	1,137.6	0.8	0.5	0.1
37	コックフーズ こだわりの鴨鍋セット 210g	234,980	407	577.4	0.8	0.9	4.7
38	大成 馬刺しスライス生食用 40g	221,967	462	480.5	0.8	1.1	2.5
39	NTCデリバ 2種スライス(モモ・バラ) 70g	217,249	247	879.6	0.8	0.6	2.7
40	阿部繁孝商店 あべどり 鶏ガラ 1羽	210,525	2,231	94.4	0.7	5.1	3.9
41	日本ピュアフード 十和田バラ焼 250g	192,898	316	610.4	0.7	0.7	4.0
42	全農チキンフーズ 国産若鶏むね肉 凍結品 2kg	161,562	124	1,302.9	0.6	0.3	1.1
43	ミリオンエンタプライズ 国産やわらか牛すじ 200g	160,349	236	679.4	0.6	0.5	0.6
44	むさしや食品 ジンギスカン 210g	159,468	235	678.6	0.6	0.5	0.4
45	佐藤食肉 国産鶏挽肉チャック付き 冷凍 500g	155,807	246	633.4	0.5	0.6	1.1
46	小滝畜産 北の大手門 ガーリック塩ホルモン 180g	153,544	437	351.4	0.5	1.0	0.4
47	千興ファーム 馬刺し桜うマトロ 60g	152,372	261	583.8	0.5	0.6	4.9
48	共栄食肉 運河焼肉ロースジンギスカン 200g×2	151,219	126	1,200.2	0.5	0.3	0.2
49	JA全農ミートフーズ 国産豚ロースたれ漬 北海道のたれ屋ソラチ使用 170g	148,812	405	367.4	0.5	0.9	1.0
50	米谷産業 北海道産 牛すじ肉 冷凍 130g	148,624	357	416.3	0.5	0.8	2.6

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 3月3日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1		
和牛	雌 A	高値	3,404	2,673	2,428	-	-	
		安値	2,343	2,365	2,118	-	-	
		平均	2,656	2,457	2,279	-	-	
	92頭	頭数	75	15	2	-	-	
	雌 B	高値	-	-	-	-	-	
		安値	-	-	-	-	-	
		平均	2,394	-	-	-	-	
	1頭	頭数	1	-	-	-	-	
	去 A	高値	3,207	2,649	2,443	-	-	
		安値	2,343	2,268	1,751	-	-	
		平均	2,664	2,441	2,254	-	-	
	178頭	頭数	143	30	5	-	-	
去 B	高値	-	-	-	-	-		
	安値	-	-	-	-	-		
	平均	-	-	-	2,038	-		
1頭	頭数	-	-	-	1	-		
乳牛	雌 B	-頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C	-頭	平均	-	-	-	-	
	去 B	-頭	平均	-	-	-	-	
	去 C	-頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	7頭	平均	-	1,685	1,643	1,591	-
		頭数	-	2	4	1	-	
	雌 C	2頭	平均	-	-	1,628	-	-
		頭数	-	-	2	-	-	
	去 B	24頭	平均	1,758	1,733	1,644	1,596	-
		頭数	1	9	9	5	-	
去 C	2頭	平均	-	-	1,541	-	-	
頭数	-	-	-	2	-	-		

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	401 398	877 1,006	- 80.5	(競り)	(相対)	
				-	12	73

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,722	2,334	1,704	1,688	-
	B	-	-	1,528	1,563	-
和 去	A	2,623	2,376	-	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	1,034	1,037
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	1,691	1,669	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	663	791	670	670	553
	安値	606	572	553	454	366
	平均	625	604	594	546	453
	頭数	(7)	(320)	(325)	(218)	(136)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
搬入 相対	高値	-	-	-	-	515
	安値	-	-	-	-	515
	平均	-	-	-	-	515
頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(12)	

[大阪食肉卸売市場] 3月3日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) []は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,494	2,320	2,215	-	-
(頭数)	(10)	(8)	(2)	(-)	(-)
B	-	2,061	-	-	-
(頭数)	(-)	(1)	(-)	(-)	(1)
和 去 A	2,508	2,280	-	-	-
(頭数)	(7)	(5)	(-)	(-)	(-)
B	-	-	1,804	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(1)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	-	1,701	-	-
C	-	-	1,706	-	-
交雑去 B	-	1,879	1,730	1,642	-
C	-	-	-	1,624	-
豚	-	522	524	544	478

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	3月3日	3月2日	(3月累計)
豚	67,100	65,800	132,900
成牛計	4,460	4,600	9,060
和牛雌	1,150	1,030	2,180
和牛去勢	1,300	1,420	2,720
乳牛雌	640	370	1,010
乳牛去勢	460	560	1,020
交雑雌	430	510	940
交雑去	480	710	1,190

[去勢牛B3・2規格 枝肉取引価格] 3月3日

東京	1,623 円	(前日 1,626 円)
大阪	1,722 円	(前日 1,679 円)

[豚・全農建値] 3月3日

上	中	取引頭数	市況
609 円	596 円	1,199 頭	強もちあい

と畜 売買	牛 64 頭	豚 61 頭	牛概況	もちあい
	牛 62 頭	豚 90 頭	豚概況	急落

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 3月3日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	594 (594)	- (-)	5,718	-	もちあい
仙台 [中]	524 (597)	454 (497)	370	75	急落
栃木 [地]	- (596)	- (486)	1,474	-	休市
茨城 [地]	599 (568)	576 (554)	1,367	649	反発
群馬 [地]	610 (587)	538 (515)	2,130	271	続伸
さいたま [中]	616 (605)	608 (590)	129	132	続伸
東京 [中]	604 (603)	594 (580)	877	1,006	もちあい
横浜 [中]	607 (606)	586 (580)	679	668	もちあい
山梨 [地]	703 (-)	695 (-)	138	86	上伸
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	573 (605)	547 (562)	946	252	続落
京都 [中]	610 (607)	578 (592)	92	105	もちあい
大阪 [中]	522 (554)	524 (528)	61	90	急落
神戸 [中]	644 (-)	641 (-)	-	134	-
岡山 [地]	608 (593)	588 (582)	384	239	-
広島 [中]	579 (561)	543 (513)	322	119	反発
福岡 [中]	595 (587)	560 (554)	599	136	続伸

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 2月24日～3月2日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,660,616 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,152	1,184	1,218	1,190	89,641
うで	713	742	765	740	132,253
ロース	1,036	1,145	1,223	1,130	125,630
ばら	1,177	1,231	1,261	1,227	153,681
もも	743	774	799	767	202,215
ヒレ	988	1,079	1,134	1,077	13,984
セット	933	1,024	1,048	1,005	943,212

◇近畿圏 総重量 747,816 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,175	1,296	1,352	1,269	52,417
うで	675	715	743	712	129,267
ロース	1,058	1,149	1,231	1,151	94,176
ばら	1,188	1,296	1,339	1,284	126,742
もも	691	732	788	732	170,180
ヒレ	1,080	1,218	1,274	1,190	12,143
セット	874	980	1,110	989	162,891

[食鳥正肉日経相場] 3月2日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	755	811	999	262
ムネ	451	499	654	176

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	754	835	1,050	3
ムネ	461	521	610	2

[農水省統計情報部食鳥市況] 3月2日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値	1,014	680	550	600	650
安値	770	460	290	360	350
平均	837	529	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

国内で唯一、最大級の食肉総合見本市

第50回

2026食肉産業展

2026 Japan Meat Industry Fair 50th.



半世紀の集大成を
未来へつなぐ

圧倒的
開催規模!!



フード業界が最も注目
する国内最大規模の
総合見本市

会期

2026年 3月10日(火) ⇒ 13日(金)

会場

東京ビッグサイト

主催 ● 食肉産業展実行委員会

後援 ● 農林水産省、厚生労働省ほか

食肉産業展事務局 株式会社食肉通信社 TEL.03-6206-0929

食肉産業展HP <https://www.shokuniku-sangyoten.jp>



ご来場の際は左のQRコードより、必ず事前登録をお願いします。

[事前登録URL] <https://www.jma-tradeshows.com/foodex/jp/registration.php?exhibitor=EX001472>

同時開催

アジア最大級の
食品・飲料総合展示会



The 51st International Food and Beverage Exhibition
FOODEX JAPAN 2026
51 国際食品・飲料展